

【分野名：学際、複合、新領域】

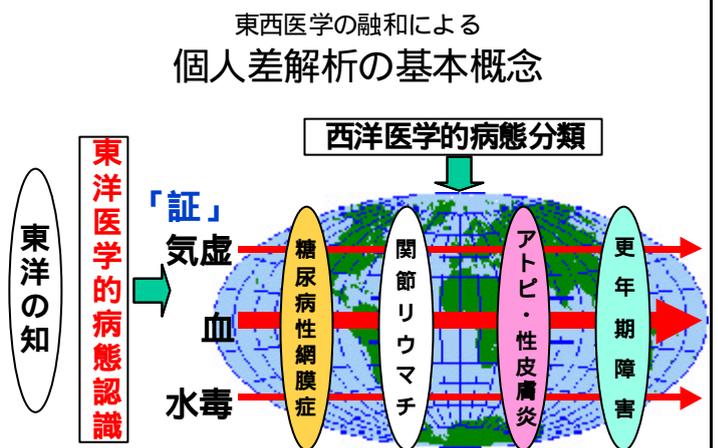
大 学 名	富山医科薬科大学
拠点のプログラム名称	東洋の知に立脚した個の医療の創生
中核となる専攻等名	医学系研究科生化学系専攻
拠点リーダー氏名	寺澤 捷年

《拠点形成の概要》

「東洋の知」は、人間存在を自然の中で生かされている心身一如の小宇宙として捉えている点で優れている。本プログラムは、西洋医学的に同一の疾患カテゴリーの中に多様性が存在することを「東洋の知」の切り口で捉え、これを最新の技術を導入して遺伝子及びタンパク質のレベルで明らかにし、病態の個別性や個人差に基づく「個の医療」を創生しようとするものである。

さらに伝統医薬に関する基礎研究を遂行し、資源の確保や永続的利用を可能にする方策を提示するとともに、薬物治療学の新たな展開を目指す。

本研究を実行するためには、医学系研究科に所属する東洋医学の臨床研究者、西洋医学の臨床研究者、薬学研究科に所属する基礎研究者の緊密な連携が必要である。拠点リーダーの強いリーダーシップの下に、和漢薬研究所を機軸として合同研究チームを形成し、明確な目標に向かって若手研究者の育成に全力を挙げる体制を構築する。また、国内にとどまらず、中国など海外の人材育成をも視野に入れその拠点を形成するものである。また、国際的研究教育拠点となるようオールジャパンコンソーシアムの形成を目指す。



西洋医学的に「単一の疾患」と診断されても、東洋医学的には別個の病態と認識される。すなわち、「単一の疾患」は亜群から構成される。この考えを糸口にして、さらに遺伝子多型や発現タンパク質の解析により、「個の医療」の新展開を計る。